

平成17年度 第17回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成17年11月8日(火) 13:30～15:00

場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室

出席者 <委員> 矢田学長、棚次副学長、国武副学長、羽田野事務局長、乗口外国語学部長、近藤文学部長、齋藤経済学部長、小野法学部長、高橋国際環境工学部長、谷村社会システム研究科長、迎全学教務主事、山崎(克)産業社会研究所長、山崎(勇)国際教育交流センター所長

配布資料

- 1 部局長の選考方法について(案)
- 2 教員の退職等について
- 3 学部の課題及び今後の方向性について

(冒頭、第16回教育研究審議会議事録(案)について確認)

第1号 副学長、学部長、学科長及び研究科長の選考方法等について

* 部局長の選考方法について、資料1のとおり提案。

- 学部長が学科長候補を推薦する場合の学部長とは新たに選出された学部長のことか。
- そのとおり。
- 二名連記をして二位の者が複数名ある場合はどうするか。
- 人数にかかわらず、二位までを出すこととしたい。
- 二名の順位を明示して出すのか。票数は出すのか。
- 順位・票数等を示す必要はない。候補者から大学・学部改革に対する意見を聴き、それに基づいて学長が選出をする。
- 基盤教育センター次長・部門長等の設置を検討しているがそれらの選出はどうか、また学生部次長、全学教務副主事、学術情報センター次長はどうか。
- 組織構成・果たすべき機能の検討、確定後に考えたい。
- 全学教務主事という名称を教務部長と改めてはどうか。
- 規程改正が必要になるため、次年度4月施行の規程改正にあわせて検討したい。

【議長】提案について11月18日(金)までに、各学部等から意見・質問を提出いただき、次回教育研究審議会にて意見をとりまとめることとしてよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 北九州市立大学教員の退職等について

* 国際環境工学部からの申請に基づき、1名の退職の承認について提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 経済学部の18年4月採用人事について、選考委員会から、候補者中に適任者が認められなかったため、18年10月採用に変更し、担当科目を一部変更のうえ、改めて選考を行う旨を提案。

○選考委員会は存続時期を年度内とすることとしている。年度内には選考を終了いただきたい。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 学部の課題及び今後の方向性について

* 資料3のとおり、学部学科再編に関する各学部からの意見・考への提出について提案

●自分の学部だけではなく、全学的な再編成について意見を申し述べるということか。

○そのとおり。

●学部・学科の大きな再編成を行う必然性が本当にあるのかの見極めが重要。大規模な再編が予定されているならば、学部からの意見聴取を実施するよりむしろその案を示して欲しい。

○大規模な再編をすべきかも含め、各学部の現在の課題、これからの方向性等を聴き、判断していきたい。

【議長】12月21日(水)までに各学部から意見・考へを提出いただき、検討を進めることとしてよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議題終了後、前回教育研究審議会にて提案された「特任教員」について各学部等から意見が出された。)

[文学部]

様々な経験の人が様々な形態で大学に貢献することが可能になり望ましい。ただし、現在の客員教員制度の枠組みで進めている選考作業と齟齬が起きないように整理していただきたい。

[社会システム研究科]

連携教員を非常勤講師の形でしか受入れができていない。特任教員制度のような形で新たな任用ができることが望ましい。

【議長】次回に、特任教員についての規程案を提案し、検討を進めることとしてよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告

次回の審議会を11月22日(火)に開催する予定である旨、事務局から説明があった。